

令和3年度 第3回 会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 要旨

日時：令和3年12月16日（木）15：00～17：00

場所：生涯学習総合センター（會津稽古堂）研修室6

1 開会（司会：観光商工部商工課 田沼）

2 協議

- ・会津若松商工会議所吉田課長が座長となり進行

【勉強会(12月3日開催)の振り返りについて】

■事務局より結果報告後、当日参加のメンバーより感想などを頂いた

- ・未来会議で勉強会を企画し多くの方と連携して、今回のような成功事例を聞くことができたのは有意義だった。
- ・合同会社ねっかの脇坂さんの講演は、味はもちろんのことだが、OEMの事例を聞くことができ、とても参考になった。また、地域課題の解決を目標に米焼酎作りに取り組んできたことも、多くのコラボ商品が成功した事例につながっていると感じた。
- ・さらに、講演を聞いて、食・農・工が同じ方向を向いていることが地域の振興につながっていくと感じた。取組を根付かせていくことが重要であり、今会津が持つ強みは何か、守っていくべきものは何かの視点が大事だと思った。
- ・コラボ商品の視点での講演を聞くのは初めてだったが、事業者支援の観点からとても参考になった。
- ・そもそも商品にストーリー性があるものを『ふくしまものまっぷ』として取り上げられていると感じたため、商品のストーリー性は重要だと思った。
- ・企業のPRとしてコラボ商品は有効な手段と感じた。
- ・交流会は、まだ事業年数の浅い人は、ベテランの意見も聞くことができ、交流のきっかけづくりになったと思った。
- ・ねっかのネームバリューが、コラボ商品として、に留まらず1人歩きできるようになる形がベストだと思った。
- ・同友会において、食と農と工芸委員会を立ち上げ、連携に取り組んでいる。こういった連携の中で、会津独自の文化が出てくればもっと嬉しい。

【令和4年度の勉強会(セミナーについて)】

(メンバーからのセミナー案)

- ・事業の存続や後継者問題について：経営者の企業経営の悩みなど、また、支援している団体からの話。
⇒成功事例が聞ければなお良い。
 - ・(葵高校とせっかく連携しているので) 高校性が聞きたい事業者のセミナーを開催し、高校生との交流を深める。事業の成功事例など。
 - ・女性経営者、企業の中で活躍する女性の講演。
 - ・中小企業振興条例に成功事例。
 - ・会津の地域企業間でのコラボを深めていくセミナー。
 - ・デジタルを使った情報発信に関する勉強会：地域に根付く物の良さをデジタルで発信する事例。
- まずは解決すべき課題の設定が大事だと思う。

➡◎大きな方向性として、これまでの勉強会のテーマ『コラボ・連携』を深めていくか、新たな課題設定に基づき勉強会を開催するか。

①コラボについて深めていく

- ・1つの業界でできることには限りがある。他業種との連携は重要。
- ・会議の中でできた良い事例について深めていきたい。
- ・業種、業界、団体にしぼられずに連携を深めたい。

②新たなテーマでの勉強会

- ・コラボについては他のところでたくさんやっている。
- ・新しい方向性で進むことが大事だと思う。

⇒今回の会議内では①の意見が多かった。次回までに事務局で勉強会（セミナー）案を整理し、次回会議で再度協議することとする。

【令和4年度の葵ゼミとの関わりについて】(事務局よりスケジュール説明)

- ・せっかく連携を図ってきたので、勉強会同様、連携を進めていく方向で良いと思う。

【情報共有】

前回から1ヶ月半での開催だったため、前回情報共有から変わった点などについて発言いただいた。

- ・街中に人が戻ってきた印象。
- ・地域の飲食店には忘年会などの予約が戻ってきているようだ。予約しようと思ったが、満席で断られた店舗もあった。
- ・飲食店について、先週末はコロナ前の状態に戻ってきているという声も聞いた。
- ・イベントも10月から動き出している。
- ・一方では、海外における新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、建築関連の材料が入ってこないなどの話も聞く。
- ・燃料費高騰の影響が大きく、運送業はとても厳しい状況である。
- ・会津若松商工会議所青年部では、地域の事業者の紹介と『コアな会津』をテーマとして観光スポットの動画を作成し発信した。事業者紹介は第2弾となる。
- ・会議所青年部、青年会議所、同友会で連携し、会津大学（短期大学部含む）にお米とカップラーメンの寄付を行った。
- ・会津青年会議所では、次年度もなるべくオンラインではなく、リアルでの開催を目標として活動していく方向。
- ・市男女共同参画室において、令和4年1月20日から2月20までの5回、きらめき女性塾を実施するため、参加する予定である。
- ・事業再構築補助金について、これまで複数回応募していた事業者が採択となった。少しずつ事業計画がブラッシュアップされてきた成果と想定される。
- ・5月のこども祭りに合わせた街中にぎわいづくりのイベントを企画している。そのミーティング実施においても、学生が気軽に集まって話し合うことができる場があると良いと思う。喜多方市にはNPO法人かけはしにより運営されているスペースがある。

【オブザーバーより】

(中小機構松本様)

- ・先ほどのセミナーの案の中で、中小企業振興条例にかかる先進事例というお話があったが、こういった会議をしているところはあまり無く、なかでも、会津若松市の未来会議は進んでいる。
- ・事業承継や女性活躍などの成功事例については、中小機構から講師などを紹介することも可能である。
- ・コアメンバーの皆様のお話が『企業振興』ではなく『地域をより良くするために』という主旨であることが、とても素晴らしいと思う。
- ・同様の会議は企業振興の要望に偏る例も見られるが、やはり地域が良くなることが、その地域にある企業の発展につながっていくと考える。その点が会津若松市の未来会議のコアメンバーの皆様の素晴らしいところであり、有意義な会議につながっていると感じた。

(中小機構杉村様⇒12月3日勉強会講師としてご参加)

- ・会津の皆様のお熱意を肌で感じ、元気をもらった。
- ・高校生が参加していたことにも驚き、頼もしさを感じた。
- ・やるべきことが各組織内、さらには地域内へと浸透すれば地方創生は必ず成就すると思う。やるべきことの明確化や分野ごとの勉強会において、今後も当機構をぜひ活用いただきたい。

令和3年度
会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 コアメンバー及び出席者名簿

令和3年12月現在

所属・企業名	役職	氏名（敬称略）	備考	第3回 出欠
宮城大学 事業構想学群	准教授・博士	青木 孝弘		出
(有)カナダ工業製作所	専務取締役	金田 卓也	会津若松商工会議所 推薦	欠
(株)安西商会		安西 秀幸		欠
(株)三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	県中小企業家同友会 会津支部 推薦(勉強会 出席者)	出
(株)アクトイン	取締役	松浦 久美	県中小企業家同友会 会津支部 推薦	出
TAKLAM	代表	遠藤 和輝	公益財団法人 会津青年会議所 推薦	出
会津若松商工会議所	企業振興課長	吉田 浩		出
あいづ商工会	事務局長	白川 浩二		欠
福島県中小企業団体中央会 会津事務所	所長	堀 和弘		欠
会津信用金庫	本店営業部長	渡部 勝敏		欠
会津商工信用組合	融資部・地域支援課 次長	藤巻 正義		出
(独) 中小企業基盤整備機構 東北本部 福島支援センター	副参事	松本 能晃	オブザーバー	出
会津若松市観光商工部商工課	課長	長谷川 陽一		出